

第5回「次世代の太陽光発電システム」シンポジウムのお知らせ(案)

－ 薄膜太陽電池のイノベーションと地域連携 －

地球温暖化防止やCO₂排出削減は全世界の共通言語となりつつあり、再生可能エネルギーに対する期待は日増しに高まっています。太陽光発電システムは、飛躍的な増加によって全世界での年間生産量が2GWを越え、代替エネルギー源としての地位を着実に築いています。ここ数年、シリコンの原料不足の影響もあって特に薄膜太陽電池に注目が集まっており、薄膜シリコン系やCIGS系太陽電池の量産計画が国内外のメーカーから発表され生産が始まっています。薄膜太陽電池の競争力を高め、その地位を確固たるものにするには、さらなる高性能化、低コスト化、信頼性の向上が不可欠です。材料物性から、デバイス物理、プロセス技術、装置開発、性能評価に至るまで産学官連携での幅広い研究開発が求められます。一方、太陽電池の生産や導入普及を円滑に進めるためには地域との連携を忘れることはできません。

薄膜太陽電池の工場が集中する九州地方で開催されるのを機に、本委員会では「薄膜太陽電池のイノベーションと地域連携」をサブテーマとして、第5回シンポジウム(宮崎)を企画させていただきました。主催、共催団体の会員はもとより会員以外の方も自由に投稿、参加できますので、お誘い合わせの上、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

主催 日本学術振興会 産学協力研究委員会 第175委員会 (<http://solid.pe.titech.ac.jp/~gakushin>)

共催 応用物理学会 応用電子物性分科会

応用物理学会 結晶工学分科会

会期 平成20年6月26日(木)、27日(金)、の2日間

場所 宮崎市民プラザ4階 ギャラリー (宮崎駅 徒歩25分、バス10分:橋通1丁目下車)

〒880-0001 宮崎市橋通西1丁目1番2号

TEL: 0985-24-1008 <http://www.miyazaki-catv.ne.jp/~plaza1/index.htm>

シンポジウム参加費 10,000円(主催委員会委員)、15,000円(一般)、5,000円(学生)

シンポジウムの内容

- (1) 結晶Si系、薄膜Si系、化合物薄膜系、超高効率、色素増感・有機薄膜系、新材料等の各種太陽電池
- (2) 太陽電池の製造技術、評価技術、リサイクル技術、測定法など
- (3) 太陽光発電システム(モジュール設計・製造技術、評価技術、フィールド試験、システム応用、宇宙応用)など
- (4) エネルギー政策、導入普及、地域連携
- (5) 基礎講座

招待講演の他にも、広く一般講演(ポスターセッションを含む)を募集しております。

講演申込手続き

講演希望者は、A4用紙1枚に、発表題目、発表者名、連絡先住所、電話番号、FAX番号、電子メールアドレス、講演概要(200字程度)を記入し、シンポジウム事務局まで電子メールまたはFAXにてご連絡ください。

講演申込締切は、平成20年4月25日(金)です。

ダイジェスト原稿の提出

提出された論文概要をもとにプログラムを作成し、申込者にお知らせ致します。講演者には、当日配布用のダイジェスト原稿(A4、4ページ以内)の作成をお願いいたします。

ダイジェスト原稿の締切は、平成20年5月26日(月)です。

参加登録

シンポジウムに参加を希望される方は、氏名、所属、住所、電話番号、FAX番号、電子メールアドレスを明記の上、シンポジウム事務局までお申込ください。

参加費は、平成20年6月12日(木)までにお振込みください。

実行委員会

委員長： 仁木 栄 (AIST)
副委員長： 吉野賢二 (宮崎大学)
幹事： 山田 明 (東京工業大学)
会場委員： 吉野賢二 (宮崎大学)、西岡賢祐 (宮崎大学)、福山敦彦 (宮崎大学)
プログラム委員： 宇佐見徳隆 (東北大学)、大東威司 (資源総合システム)、櫛屋勝巳 (昭和シェル石油)、小長井誠 (東京工業大学)、近藤道雄 (AIST)、田中 誠 (三洋電機)、野々村修一 (岐阜大学)、早瀬修二 (九州工業大学)、山口真史 (豊田工業大学)、山田 明 (東京工業大学)、山本憲治 (カネカ)

事務局

〒152-8552 東京都目黒区大岡山 2-12-1 S9-10
東京工業大学 電子物理工学専攻
山田 明
電話:03-5734-2698 FAX:03-5734-2897
E-mail: yamada@pe.titech.ac.jp

参加費振込先

みずほ銀行 大岡山支店 普通預金
店番号 145、口座番号 2084534

にほんがくじゆつしんこうかいだいいちひゃふしちいんかいだいいひょうこながいまこと
日本学術振興会第175委員会代表小長井誠

会場案内

宮崎市民プラザまでのアクセスは、
<http://www.miyazaki-catv.ne.jp/~plaza1/index.htm> を御覧下さい。
JR 宮崎駅 徒歩25分、バス10分(橘通1丁目下車)

日本学術振興会 産学協力研究委員会 第175委員会 運営委員会

委員長： 小長井誠 (東工大)
副委員長： 山口真史 (豊田工大)
近藤道雄 (産総研)
運営幹事： 大下祥雄 (豊田工大)
庶務幹事： 山田 明 (東工大)
運営委員： 荒川裕則 (東京理科大)、大東威司 (資源総合システム)、加藤和彦 (産総研)、櫛屋勝巳 (昭和シェル石油)、佐賀達男 (シャープ)、田中 誠 (三洋電機)、早瀬修二 (九工大)、藤岡弘文 (三菱電機)、冬木 隆 (奈良先端大)、山内康弘 (三菱重工業)、山本憲治 (カネカ)、吉川 暹 (京都大学)、和田隆博 (龍谷大)

ホテル案内

会場周辺にはホテルがあります。インターネットあるいは旅行業者を通じて、個別にお早めにご予約ください。
委員会では、日本旅行 (<https://apollon.nta.co.jp/h20taiyoukou>) に、ホテルを確保していただいております。ご希望の方は、表記ホームページよりお申し込みください。

イノベティブPV賞(論文賞)ならびに奨励賞

第175委員会ではシンポジウムで発表された講演の中から優秀な論文を選び、イノベティブPV賞ならびにイノベティブPV奨励賞を授与します。「奨励賞」は発表者が35歳以下(発表時点)の方を対象としますので、該当のご講演者は、講演申し込み時にその旨、明記願います。